

網走川流域の環境保全活動事業

網走川流域の会

【はじめに】

網走川流域の会は網走川流域に位置する全ての漁業協同組合や農業協同組合、森林組合のほか、一般企業や大学、自治体で構成された任意団体です。

網走川が流れ込む網走湖とオホーツク海は非常に豊かな漁場と、広大で肥沃な農地が広がるなど日本を代表する畑作地帯となっているほか、上流の山間部は林業が盛んな地域です。網走川流域では非常に豊かな一次産業が営まれています。一方で漁業を取り巻く環境は年々悪化しており、河川流域からの過剰な土砂の流入による漁場の荒廃や水質の悪化、治山・治水のために設置された河川構造物に伴う遡河性魚類の遡上障害などの課題を抱えていました。

これらの課題に対応するため、平成22年に網走漁協、西網走漁協、津別町農協の三者により「網走川流域の農業と漁業の持続的発展に向けた共同宣言」が締結されました。翌年にはこの宣言の内容を具体的に進めるための組織として「網走川流域農業・漁業連携推進協議会」が設立され、思想の啓発や情報発信、植樹や視察交流、上流と下流の交流出前授業など取組を開始しました。この段階での連携は津別町と網走市のみで、網走川の中流域にある美幌町と大空町は参画していません。持続可能な産業や流域の自然環境の保全のためには、この取組を流域全体に広めることが必須であると考え、流域に位置する農協や森林組合と話し合いを進め、平成27年3月13日、網走川流域の全ての農協、漁協、森林組合のほか、一市三町の自治体、大学や会の趣旨に賛同するNPO法人、任意団体、一般企業により網走川流域の会を設立しました。

【活動の内容】

網走川流域の会は、流域が育む独自の文化や風土、そして豊かな海と大地の恵みを次世代に引き継ぐため

に、持続可能な地域協働による人・産業・自然が共生する流域社会の構築を目指しており、以下のような活動を実施しています。

(1) 網走川一斉清掃事業の実施

流域の連帯感の醸成や、上流と下流は川で密接に繋がっていることを意識するため網走川流域の一市三町では、環境月間である6月の同日同時刻に一斉に清掃活動を実施しています。令和7年度の活動では総勢370名、990kgのゴミを収集しました。



網走川一斉清掃事業（網走市）

(2) 出前授業の実施

上流と下流の相互理解を深めるため、上流の小学校には下流の漁業者がホタテやサケ、シジミなど漁業に関する出前授業を行い、下流の小学校では上流の農業者が畑作や酪農に関する出前授業を実施しています。



出前授業 網走西小学校 酪農の1日（JAつべつ青年部）

(3) 流域学習事業の実施

小学生や中学生他で津別町から網走市まで3日間自転車でのキャンプをしながら津別町の網走川源流探索や美幌博物館での流域歴史学習、馬鈴薯他収穫体



学習事業・サイクリングキャンプ

験、網走湖でカヤック体験などを実施。網走川を感じながら自然のリズムにふれ地域の風景や人の営みに出会い、五感を使って生きる力を営む学習事業を実施しました。

(4) 網走川酷暑対策事業

近年、酷暑や大雨、洪水、干ばつなど気候変動下による異常気象が頻発し、豪雨時には河川濁水による網走川や網走湖の環境悪化と網走沿岸域への被害が生じています。地球沸騰の時代とも言われるなか、異常気象は今後常態化する恐れがあることから、関係機関によるプロジェクト作業部会を立ち上げ研究機関などによる研修会を実施し具体的な対策を講じています。

現在、課題解決に向け国への要請を実施し、河川や湖沼の生物生態系への影響適応や気候変動下の異常気象に起因する、網走湖や網走沿岸域への土砂流入防止対策、及び酷暑対策の早期実施について取り組んでいます。

【功績の評価】

(1) 農地崩落対策の実施

近年、大雨などにより大規模な農地崩落が発生しており、農業者は農作物の被災や農地の崩壊、漁業者は崩落地から流れ出す大量の土砂による漁場荒廃が問題となっています。本会は、農地崩落プロジェクトチームを結成して課題と対策を協議するとともに、農協と漁協他の連盟により国や道に対して要請活動を実施し、国は農地の災害復旧対策メニューを充実させた他、道では網走川流域における農地崩落対策に関する指針を策定するなど、大幅な改善が図られました。

(2) 環境大臣賞の受賞

令和4年11月兵庫県明石市で開催された第41回全国豊かな海づくり大会の功績団体表彰として、漁場・環境保全部門において環境大臣賞を受賞しました。

式典には天皇皇后両陛下がご臨席されるなど、大変名誉な受賞であり誠に光栄なことであります。この受賞を機に持続可能な地域協働による流域社会を目指した諸活動の実施を改めて決意し活動を行っています。

全国豊かな海づくり大会 環境大臣賞受賞祝賀会



環境大臣賞受賞祝賀会の様子

【今後の取組み】

現在、網走川流域の小学生他を対象とした水辺緩衝林学習事業を網走川河川敷地内で植樹や水辺緩衝林他の役割学習、木育や自然環境循環の総合学習を計画しています。網走川流域の森と川の生態系や自然環境を保全し、再生を図ることで地域の人々に流域の豊かな自然環境とその価値を伝えていく必要があります。また次代を担う子どもたちに楽しく遊びながら環境を学習できる場所を提供し、自然環境を生かした地域づくりに寄与したいと思っています。

網走川流域の会の活動は、教育から観光に至るまで多岐にわたっており、各種研究を実施するためのプラットフォームとしての機能も期待されています。

これらの各種事業を通じ小学生から一般住民に対し、網走川流域の豊かな生態系や自然環境とその価値を伝え、自然と共生する網走川流域の社会事業にこれからも貢献したいと考えています。



▶網走川流域の会 Facebook

<https://www.facebook.com/abashiri.ryuukino.kai/>